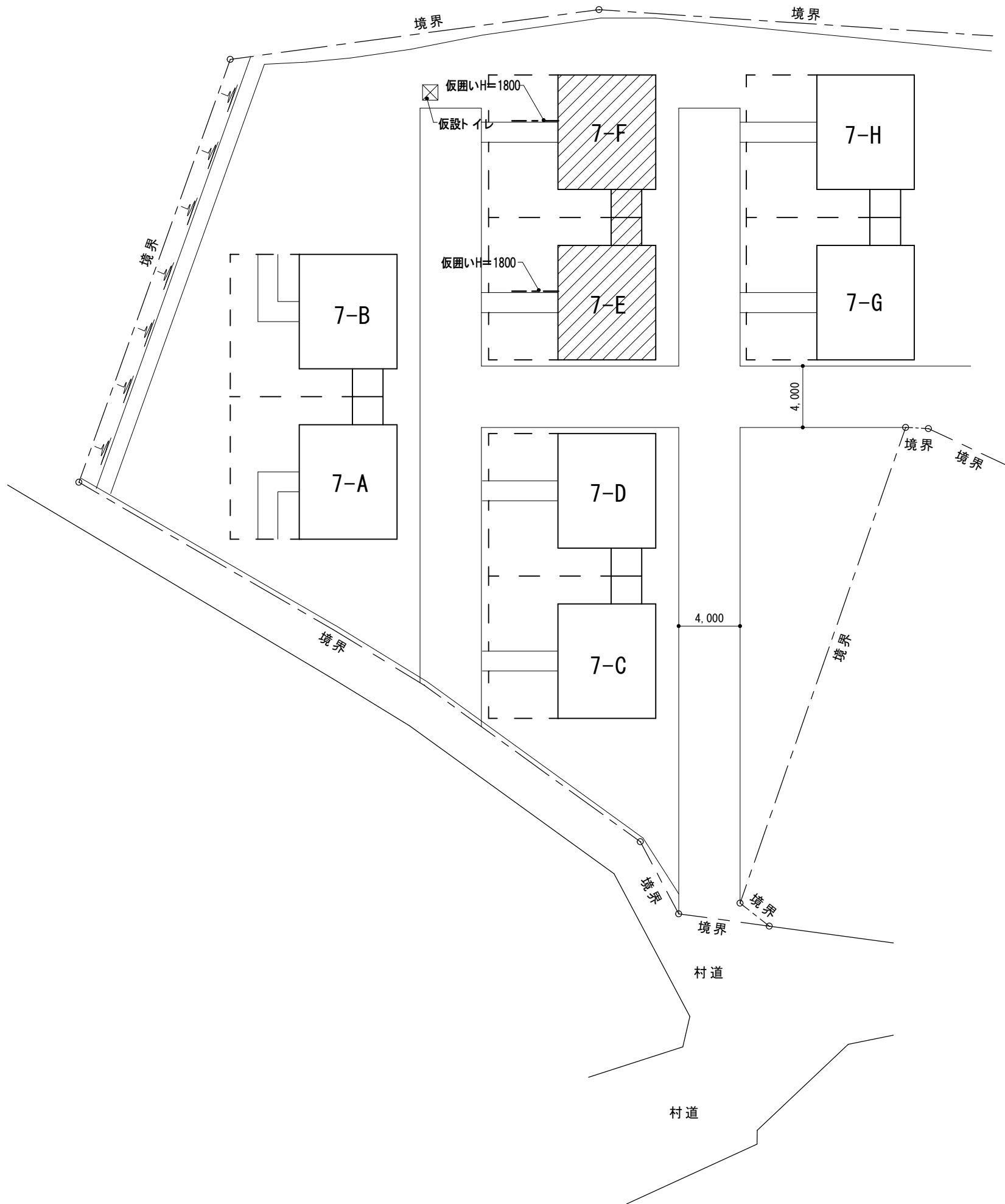
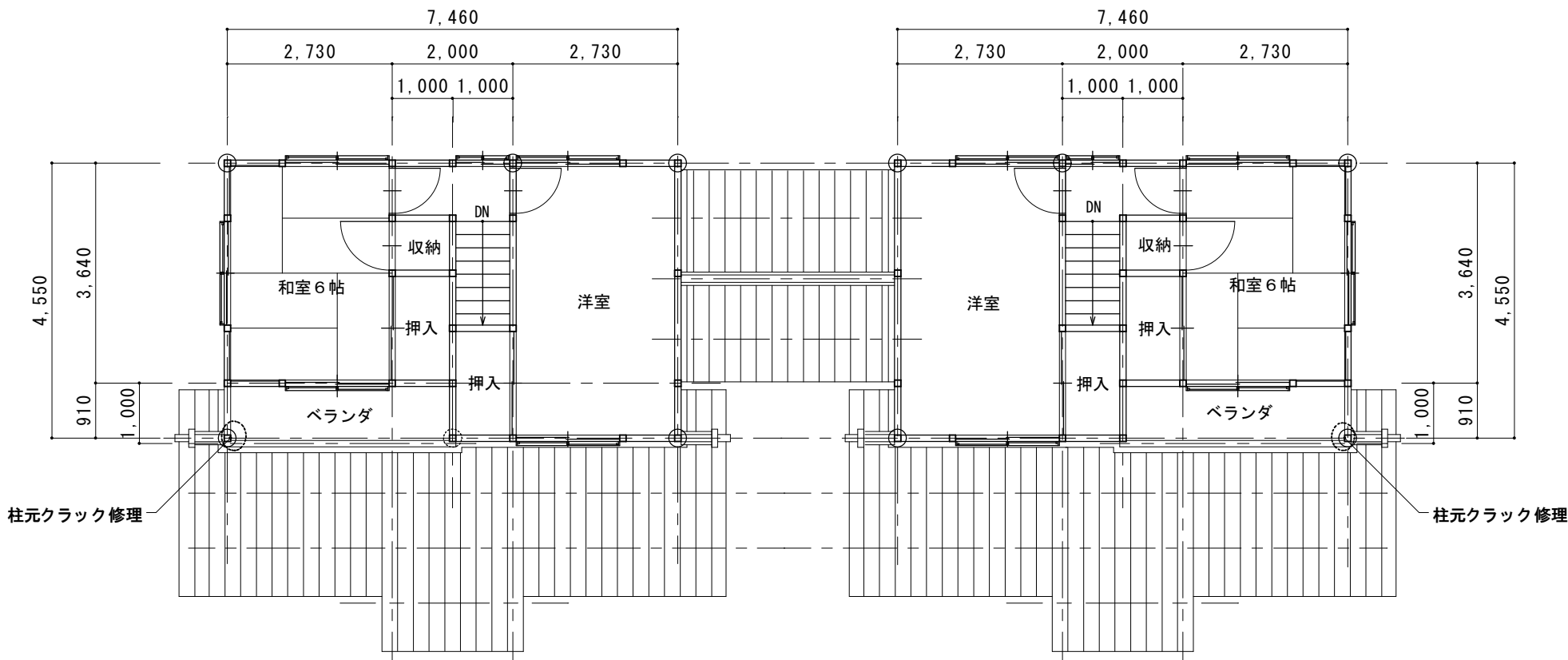


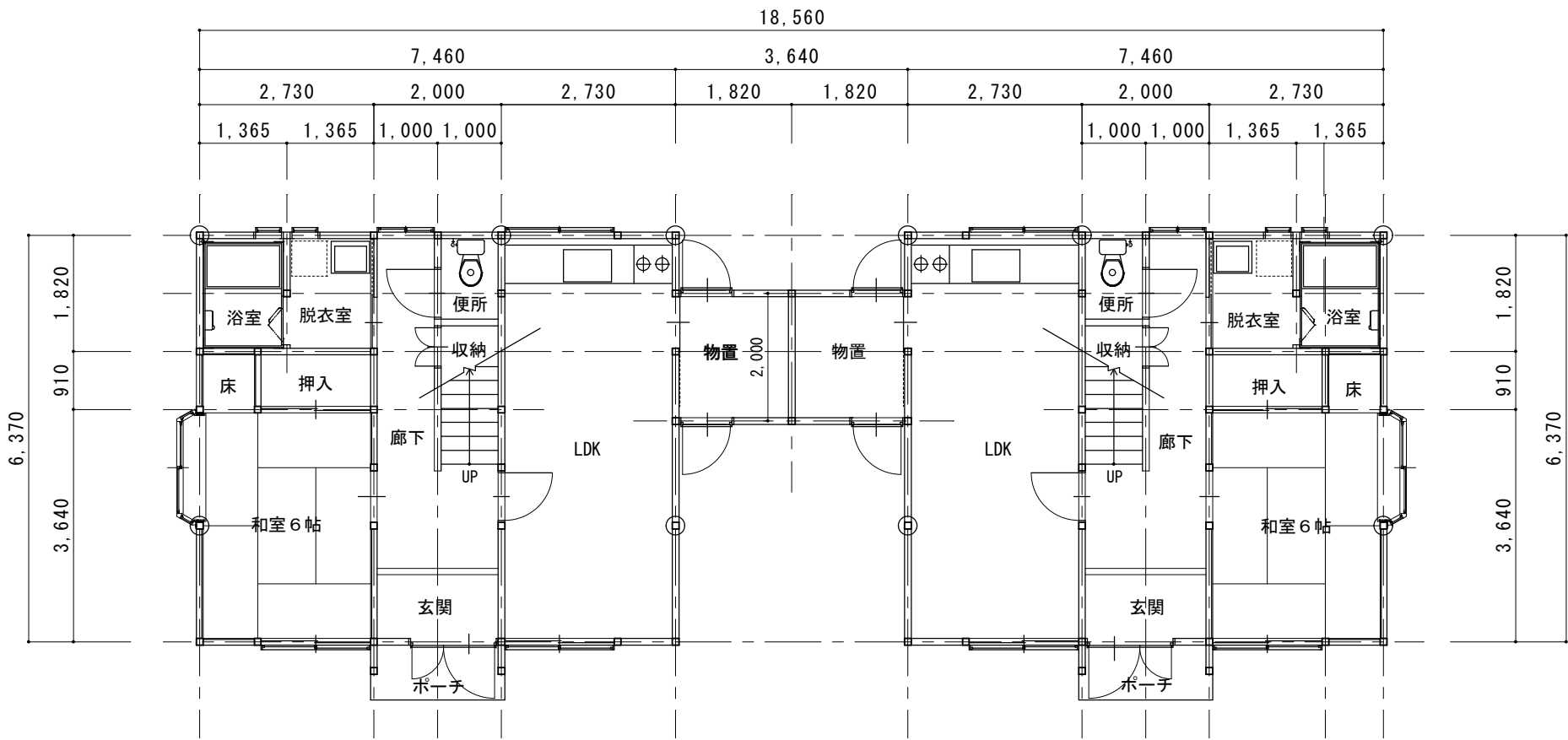


工事概要	
工事場所：	西栗倉村長尾団地
工事範囲：	西栗倉村営長尾住宅7号棟修繕工事 7-E・7-F
工事期間：	令和8年10月19日～令和9年1月19日
注意事項：	就業日は緊急時を除き月曜日から金曜日の週休二日とする 就業時間は緊急時を除きAM8：30からPM5：00を厳守する。 団地内住民の安全に留意して進める。
1. 共通仮設工事	配置図指示の箇所に仮囲いを設け、住居人の安全を確保する。 居住しながらの工事となる為、入室経路を安全に確保すること。 工事の進行に支障の無い場所に仮設トイレを設置する。 工事用電気水道は村の支給とする。
2. 仮設工事	外部足場は枠組足場幅600、手摺先行方式とし、ネット養生(メッシュネット 防災1類) バルコニーは脚立足場とする。 一部外壁、サッシ窓、の養生を行う。 建物の外周、周辺の清掃片付け行う。 引渡し前には清掃を行う。
3. 解体工事	軒裏・軒先モルタル部分撤去は、カッターを入れ丁寧に撤去する。 モルタル撤去後、下地木材を確認し腐朽した部分を撤去する。
4. 外壁・軒裏・軒端修理工事	軒裏・軒端・破風左官下地：既存に習い木下地を復旧する。 軒裏・軒端・破風モルタル刷毛引き：左官用透湿防水シート、メタルラス張りモルタル刷毛引きとする。 既存モルタル刷毛引きとの取り合い部は目地は特記仕様書によりシーリング材充填する。 軒裏のヘアクラック修理：シーリング工法 特記仕様書により施工する。 軒裏・外壁のクラック修理：Uカット工法、特記仕様書により施工する。 調査の結果浮き部分がある場合協議の上特記仕様書により施工する。 既存窯業系サイディングの目地シーリングの再充填は特記仕様書による。
6. 塗装工事	外壁塗替え：高圧洗浄後、プライマー処理、1液水系低汚染型無機質塗料2回ローラー塗り 施工とする。 軒裏・軒端・破風塗替え：外高圧洗浄後、プライマー処理、1液水系低汚染型無機質塗料2回ローラー塗り 施工とする。



7 - F 2 F平面図 S=1: 100 7 - E

面積表			
住居	78.07㎡	1 F: 7.460×6.370=47.52	47.52㎡
		2 F: 7.460×4.550=33.94 − 3.730×0.910= - 3.39	30.55㎡
物置	3.64㎡	1.820×2.000=3.64	
1戸計	81.71㎡		
ベランダ	3.73㎡	3.730×1.000=3.73	
1棟計	163.42㎡	81.71×2戸=163.42	



7 - F 1 F平面図 S=1: 100 7 - E

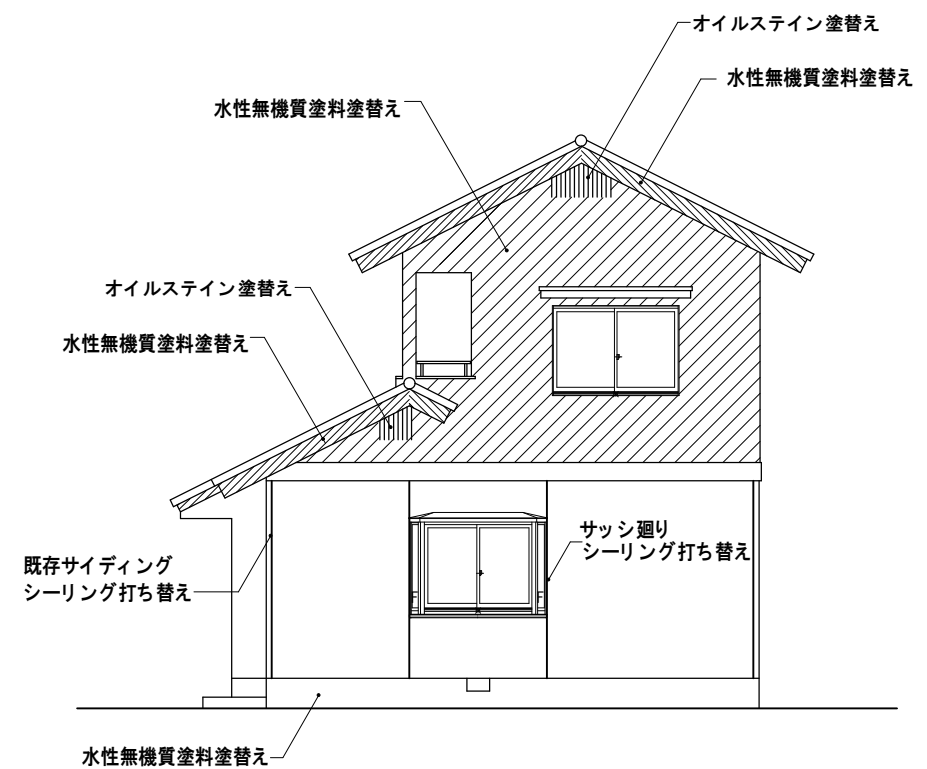
凡例		
	通し柱	120×120
	管柱	105×105
	隅柱	120×120 補強金物



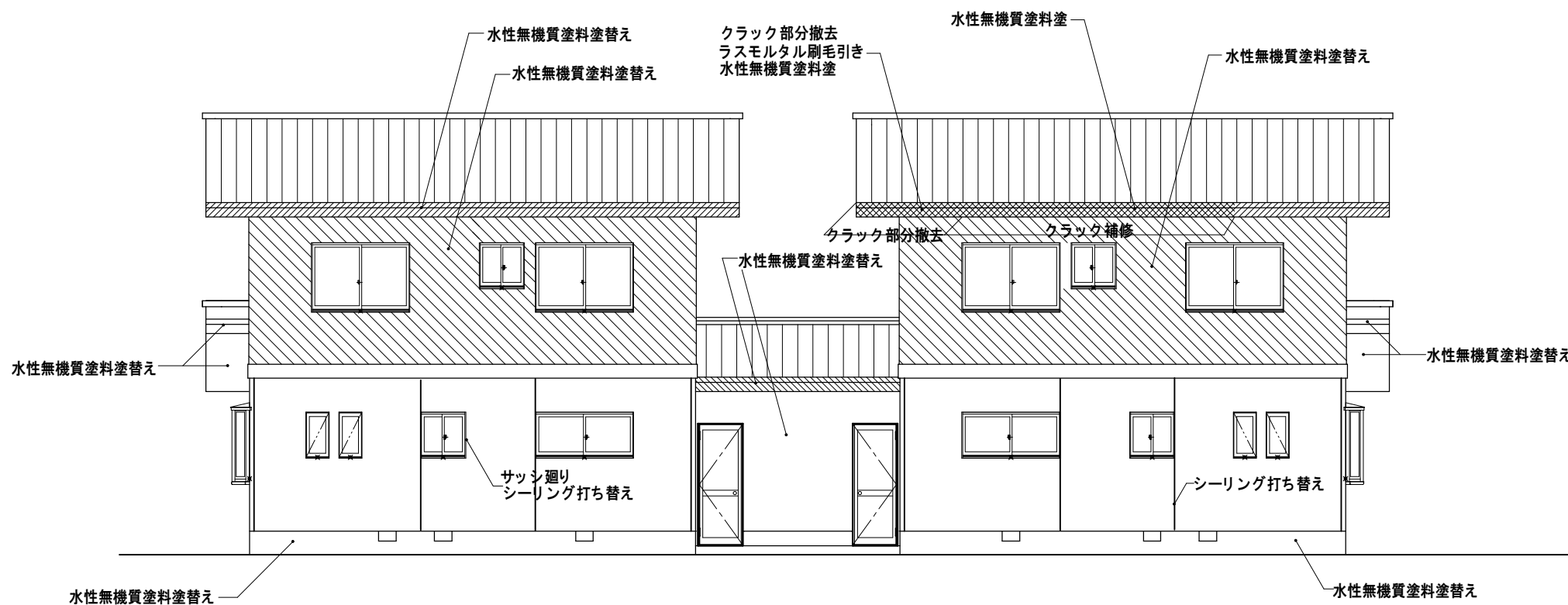
7 - F

南立面図 S=1: 100

7 - E



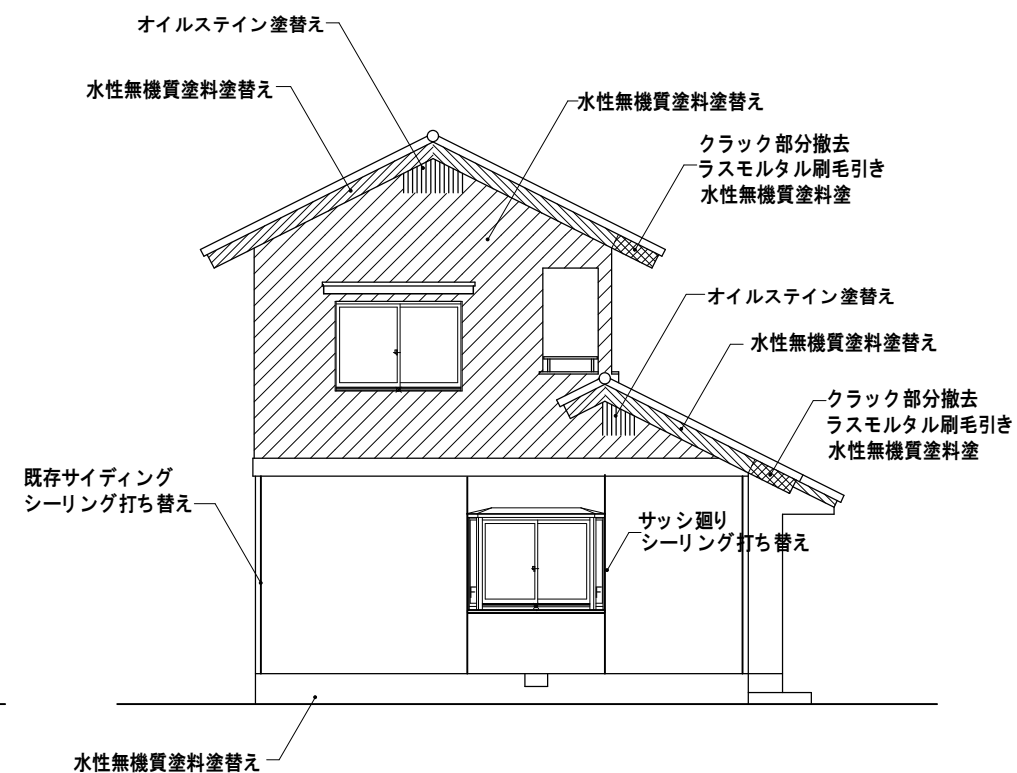
7 - E 東立面図 S=1: 100



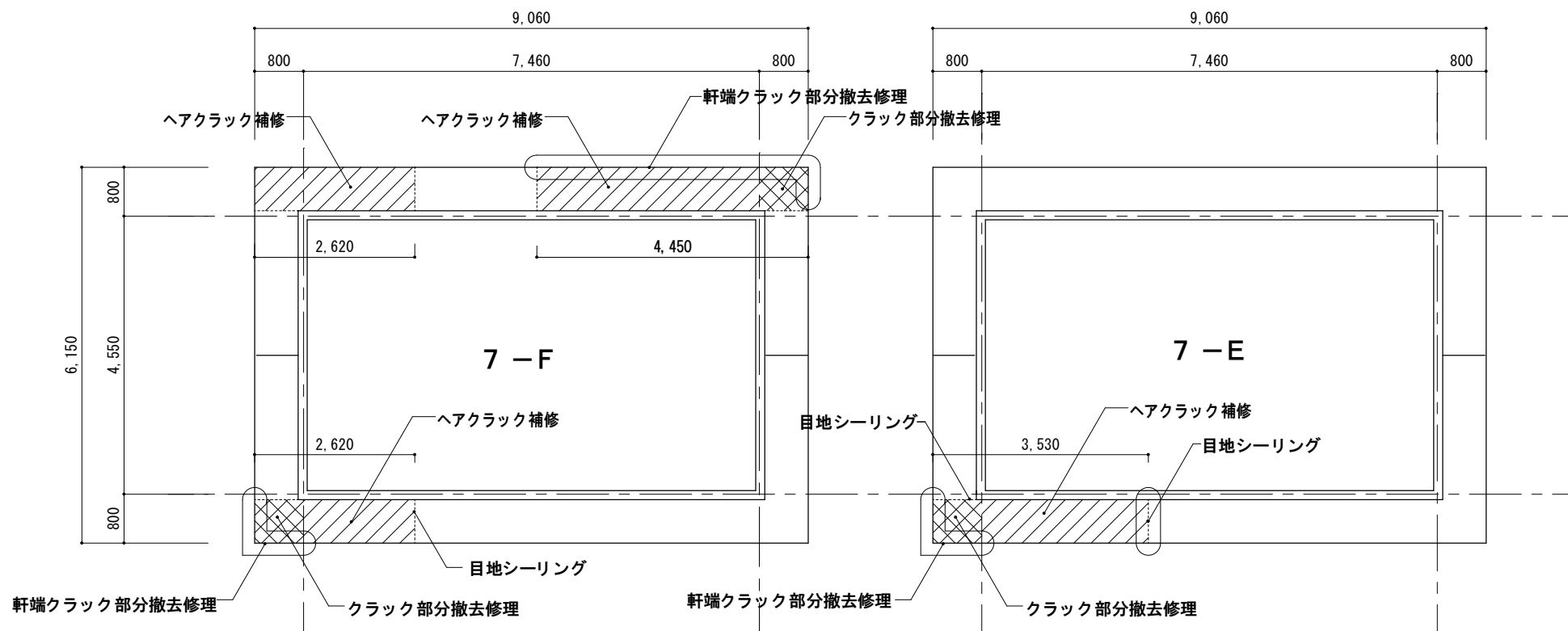
7 - E

北立面図 S=1: 100

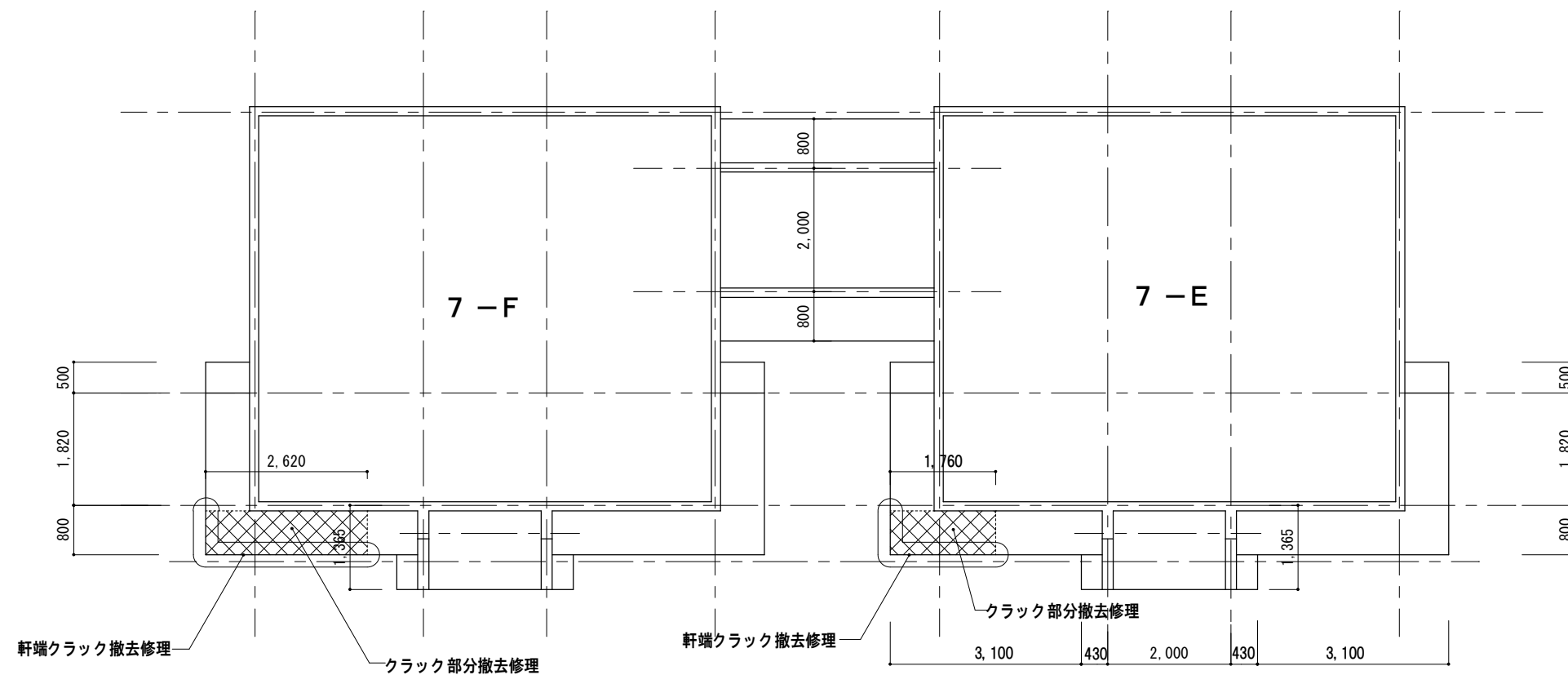
7 - F



7 - F 東立面図 S=1: 100



2 F軒裏伏せ図 S=1: 100



1 F軒裏伏せ図 S=1: 100

○外壁・軒裏塗装

モルタル下地用プライマー プライマー100

1液水系低汚染型無機質塗料 ランディックスコート PB- 5000NT 同等品

○クラック修理

特記仕様書による

○外壁・軒裏塗装塗替え

高圧洗浄機で水洗いのあと、ヘアクラック（幅0.3mm以下、深さ4mm以下）はシーリング材を充填施工する。

ヘアクラック以外の外壁クラック箇所は

グラインダー等で削り、ほこりを除去しプライマー処理、シーリング材施工する。

クラック修理の後

プライマー1 回、1液水系低汚染型無機質塗料 2 回 ロールー塗りとする。

○軒裏すが漏れクラック 部分

ヘアクラック（幅0.3mm以下、深さ4mm以下）以外

雨水の侵入したクラック幅の広い部分を剥離してラス下地の腐朽を確認する。

ラス下地腐朽箇所は撤去して、既存に習いラス下地、モルタル刷毛引修理後

プライマー1 回、1液水系低汚染型無機質塗料 2 回 ロールー塗りとする。